



連続講座・日韓の「歴史問題」の論点を探る

● 開催趣旨

この間、日本においては、韓国文化への関心が高まる一方で、いわゆる「歴史問題」でのわだかまりは容易に解消されない状態が続いています。しかも様々な情報が流れるなかで、「歴史問題」の現在を把握すること自体も困難になっています。こうしたなかで、日韓間の「歴史問題」については、それぞれの課題についての、現状や論点の整理が重要になっていると言えるでしょう。

東京大学韓国学研究センターでは、「歴史問題」の何がどう問題なのかを基本に立ち返って考えていくべく、この問題に取り組んでこられた研究者や市民団体関係者などをお招きして連続講座を開催します。

今回は、植民地支配の歴史についての近年の新たな研究動向について取り上げます。同時に、それをめぐる韓国社会における議論についても学び、日本社会への影響などについても考えていくこととします。

● 第6回 韓国における歴史研究と歴史葛藤をめぐって

講師：三ツ井 崇（東京大学教養学部・大学院総合文化研究科准教授）

● 日時：2022年3月28日（月）10:00～11:30

Zoomを用いたオンラインシンポジウムとして開催します。（要・事前登録）

● 言語：日本語（通訳なし）

● 参加費無料、ただし3月26日（土）までに**事前登録**が必要です。

下記のウェブフォームまたはメールでの登録をお願いいたします。

開催日までに、事務局よりメールでウェビナーのURLをお知らせします。



・ウェブフォームでの事前参加登録は、[こちら](#)→

・お問い合わせ cks@iags-cks.c.u-tokyo.ac.jp（東京大学韓国学研究センター事務局）

【注意点】

・本シンポジウムは、Zoomによるオンラインシンポジウムです。シンポジウム参加のため、事前にZoomのインストールをお願いします。→Zoomダウンロードセンター (<https://zoom.us/download>)

・Zoomの操作方法や接続不備については恐れ入りますが、Zoomのヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>) をご活用ください。

主催 東京大学韓国学研究センター

後援 韓国国際交流財団

KOREA **KF**
FOUNDATION

한국국제교류재단